

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	胆嚢ドレナージ後の腹腔鏡下胆嚢摘出術の至適時期に関する検討
所属科*	外科
研究責任者*	肝胆膵外科部長 清水潤三
研究実施期間	開始 倫理委員会承認後～ 終了 西暦 2019年 3月 31日 (予定)
対象疾患 (予定症例数)	10 症例
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2011年 1月 1日 ~ 至 西暦 2016年 9月 30日
研究概要*	各施設において胆嚢ドレナージ後に腹腔鏡下胆嚢摘出術を行った胆嚢炎症例に対して、腹腔鏡下胆嚢摘出術を行った時期と手術成績との関連性を評価し、胆嚢ドレナージ後の腹腔鏡下胆嚢摘出術の至適時期について検討する。
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	本研究で対象とする情報は、日常診療上で得られるものであり、各参加施設の規定に則り適切に保管・廃棄を行う。調査により得られた情報を取扱う際は、研究対象患者の秘密保護に十分配慮する。特定の個人を識別することができないよう、対象患者には登録番号を付与する。登録番号と被験者個人を連結する対応表は各施設で厳重に管理し、施設外に個人情報の持ち出しは行わない。
研究の問い合わせ先*	大阪労災病院 外科 清水潤三 072(252)3561

* 記入必須項目